

教科	科 目 名	単 位 数	学 年	学 科 または コー ス	履 修
理科	物理基礎	2	3	全学科	選択

科目のねらい	物理の基礎・基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、物体の運動などの物理現象やエネルギーが日常生活や社会とどのように関わっているのかについて関心を持ち、その役割を理解する。観察・実験や探究的な学習を通して、科学的な見方や考え方を養う。
使用教材など	教科書：改訂 新編物理基礎（東京書籍） 副教材：ニューサポート 改訂新編物理基礎（東京書籍）

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一学期	4	5	第1編 物体の運動とエネルギー	- 物理学における大きさや向きを表し方を理解する。 - 運動の表し方とその法則を理解する。 - 身近な物体にはたらく力を見出し、その役割を理解する。
	5	7	1章 直線運動の世界	
	6	7	2章 力と運動の法則	
	7	期テ1 5	3章 日常に潜む力	
二学期	8	3	4章 仕事とエネルギー	- 仕事とエネルギーについて、それぞれの基本的な考え方を理解するとともに、その関連についても理解する。 - 化学基礎の粒子と熱運動の内容を踏まえながら、熱について物理学的視点から理解する。 - 身近な波動現象を知り、その原理を理解する。 - 化学基礎の金属と自由電子の内容を踏まえながら、電気の利用について基本的な仕組みを理解する。
	9	7	第2編 さまざまな物理現象とエネルギー	
	10	6	1章 熱	
	11	8	2章 波	
	12	5	3章 電気	
三学期	1	4	4章 エネルギー	- 様々なエネルギーの特性を物理学的な視点から理解する。 - 日常生活でのエネルギー利用について、探究する。
	2	期テ1 0		
	3	0		

	[a 関心・意欲・態度]	[b 思考・判断・表現]	[c 技能]	[d 知識・理解]
評価の観点	日常生活との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究している。また、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事象・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	①学習プリント・ノート ②授業の様子	①定期テスト ②授業の様子	①観察・実験 ②授業の様子	①学習プリント・ノート ②定期テスト ③授業の様子

上記の観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	1年4回行われます。普段の授業に集中して取り組むことが大切です。	70点
②ノート、プリント、課題提出・実験	定期テストごとにノート(または授業プリント)、ワークを期日まで必ず提出してください。課題に真剣に取り組み、実験では積極的に活動してください。	30点